

広報のほろへつ

市の人口

(12月末現在)

総人口 51,944 (59増)

男 25,951 (42増)

女 25,993 (17増)

世帯数 15,345 (18増)

() 内は前月との比較増減

●No. 203 ●毎月1日・15日発行 編集発行/登別市中央町/登別市総務部公聴広報課



真夏の楽園 “市民プール”へ

いま、体力づくりチャンス

市民プールが開館してから早や一年を迎えました。

夏冬を通して市民が水泳に楽しむことのできるようにと、千歳町三丁目建設した温水プールですが、七月八月の利用者が一万七千人を超えていたのに、冬場に入ってから一カ月千人を割る利用者数となりました。

冬場はどうしても、家の中にじこもりがちな私たちですが、水温二十五度、室温三十五度の市民プールでの健全な体力づくりはいかがでしょうか。

子供さんには、水遊びを中心とした楽しいスポーツとして、運動神経系統の成長、促進がはかられます。

また大人の方には、余暇を体力保持、健康増進のために、年間を通じて行えるスポーツとして、水泳を楽しんでは、いかがでしょうか。

さらに、ご婦人にはとくに個人的にこもりがちな主婦にとって、グループ活動の楽しさを味わうのにも最適であり、加えて美容面にも効果があると言われています。

開館時間は、平日十三時から二十時まで、日曜、祝日十時から十八時まで。

料金は、大人(高校生以上)が百五十円、小中学生は五十円、幼児は無料。ロッカーは二十円となっています。

市民プールでは、各種水泳教室を開設しています。

●幼児水泳教室では、指導員や母

親の補助により水なれ、水遊び。

●婦人水泳教室では、初心者対象で、水に浮く、あるていど泳げるようになる。

●一般水泳教室 初心者対象のものほか、あるていど泳げる者の泳力向上の教室。

いずれも週二回から一回程度で料金は無料です。

講師は市水泳指導員があたります。

水泳は若男女を問わず、水遊び、水なれから、記録の向上とが集団の楽しさを味わうことのできる、大衆的なスポーツです。

市民プールで、年間を通じていつでも快適に楽しみましょう。

写真は、婦人水泳教室で水泳をマスターしながら楽しさを味わう家庭婦人たち。

1976

2.1

好評だった母親学級

今後も親しみやすいものを計画



助産婦さんの赤ちゃんのおふろの入れ方講習会

昨年十月から四回にわたって、妊娠・出産、育児について、正しい知識の普及と、児のすこやかな発育、母親としての自覚と認識を

高めることを目的とした「母親学級」を行いました。
この母親学級の内容は、一日目、婦人科医広瀬医師による妊婦の健康についてと題しての講演、スライドによる「妊娠中の生活衛生と栄養」、保健婦による妊娠中の保健指導。
二日目は、歯科衛生士による「妊娠中の歯の衛生」「歯に関する知識」、栄養士による「妊娠中の栄養」「食事のとり方」
三日目は、双葉助産婦による「赤ちゃんのおふろの入れ方」「妊産婦体操」「産後の生理と家族計画」最終日は、小児科医深淵医師による育児についてと題しての講演といったように、非常に多彩で好評でした。

受講者の方々は、「コース四回とのことで大変だと思いつながら全部出席した今、大変よかったです」と思っています。講演時間も、私達

産婦に無理がなく、係の方も親切にしてください、負けずに勉強し元気な子を産もうとがんばっています。」
「一度経験済の私でしたが、今回受講してみても大変勉強になりました。初めてお産する人はもちろん、二度目、三度目の方でも受講された方が非常にためになると思っています。」
「まず先に腹帯をしました。なにより母乳にしようと思ってい

社会貢献者を表彰

技能功労の粕谷さん・斗沢さん

去る十二月十二日、労働福祉センターで登別市社会貢献表彰式が行なわれました。
この表彰は、永年にわたって技能の修得と後進技能者の育成に尽力され、登別市の産業発展に貢献された、粕谷武男さん(登別市四ノ十六と斗沢吉さん(登別市中央町一ノ十六)が、登別市表彰規則に基づいて、登別市社会貢献者として市長から表彰を受けました。

多かつた私にとつて、とてもためになり、気持ちもおちつきました。日増に大きくなるおなかをかかえその日を楽しみに待っておりま

れも昭和四十八年に授与されています。
このほか、粕谷さんは登別建具組合長としても活躍されています。
斗沢吉さんは、大正二十二年十一月一日生まれで、竹浦尋常高等小学校を卒業後、左官工として苫小牧市で六年間、技能を練磨し、昭和三十一年から登別市内で斗沢左官工業所を自営しています。
この間、優秀かつ円熟した技能で、従業員と共に堅実な作業に従事しており、その経歴、技能、人格から登別左官組合長、登別技能協会理事として、業界の近代化を図っています。

冬は雪のため道路の状態が一変します。歩行者も運転者も、冬

消防功労者の表彰

竿頭級の来馬分団など

消防出初式の一月七日、中央公民館において、市内各消防分団員ら関係者を、一堂にあつめて、消防功労者に対する表彰式が挙行されました。

竿頭級とは、消防上の規律、訓練及び技能が特に優秀で、他の模範となる消防団体に贈られる最高名誉の授与です。

来馬分団は、昭和三十七年一月に受章し、今回で二回目。

この表彰式では、消防任務あるいは消防に対する協力援助に、功績のあつた方々を、表彰したもので、市長を初めとして、消防庁長官、北海道知事、日本消防協会長北海道消防協会会長からの、各表彰伝達がおこなわれました。

優良消防分団に対する竿頭級及び表彰状の贈呈(市長) 竿頭級 来馬分団

優良消防分団に対する功績章の伝達(北海道消防協会長)

特別功績章 副分団長 高橋 謙一
功績章 部長 雄井 勇、伊藤福次郎 班長 土橋 賢
消防器材購入金寄付者に対する感謝状の贈呈(市長)
長内 栄久(常盤町一丁目)
なお、この日は、十年以上、二十年以上、三十年以上の永年勤続者および退職消防団員に対する、表彰伝達、感謝状の贈呈もおこなわれました。

J C青年の船 参加者募集



〔目的〕

若人に大きな共感と新たな感動をきざむ、第六回「J.C.青年の船」の出航が決定しました。

「社会の人間の開発」を目標とする、青年会議所がとり上げたアジアの開発と友好親善の一環として、過去五回の「J.C.アジア青年の船」は、多くの若人にアジアの理解と連帯感と夢をはぐくんできました。

そして今、わが国はアジアの連帯感のみならず、世界の連帯感を必要としている時代です。すなわち、現代は常に青年に対し、その世界観において広く人類を考へ、世界の人類とともに考える態度を求めなければなりません。

私たち青年は、全世界の青年と提携し、経済、社会、文化を通じて常に人類平和のために、青年の持つ正義感と行動力を発揮しなければなりません。

その意味で、名称も「J.C.アジア青年の船」から「J.C.青年の船」と変更し、世界三十カ国、六十人の招待青年と共に、参加人員五百人の船が相互理解を深め、若人の正しい世界観の体験の場とするを目的とします。

自ら進んで行動する若人の参加を求めています。

●期間・経路
昭和五十一年六月七日(月)～昭和五十一年六月二十二日(火)の十六日間。横浜(マニラ)～(二泊)～香港(二泊)～横浜

●募集人員
登別市在住の健康状態が良好な満二十歳から三十歳まで(原則)の青年男女二名

●締切日
二月十日(火)

●研修参加の費用
一人二十万五千元(内本人負担は全費用の三分の一)

●申込み方法
参加希望者は、二月十日までに次の書類を整え、教育委員会社会教育課婦人青少年係または、青年会議所(商工会館)までお申し込みください。

●履歴書および参加者の推薦書

十人の招待青年と共に、参加人員五百人の船が相互理解を深め、若人の正しい世界観の体験の場とするを目的とします。

自ら進んで行動する若人の参加を求めています。

中ピ連の榎美沙子さんと 大いに語ろう

婦人運動として、ユニークな実践活動をすすめて、話題をよんでいる榎美沙子さんを迎えて、講演会を開催します。

中ピ連の運動については、賛否両論それぞれ、考え方、意見も異なっています。この機会に、女性、男性を問わず、榎さんの講演を中心として、あらためて「これからの女性の生

き方」を考えていきたいと思いき、皆さんの参加を期待しています。

▽演題
これからの女性の生き方

▽日時
二月二十日 午後六時

▽会場
登別市中央公民館(二階ホール)

▽共催
登別市文化協会・商業協同組合登別専門店会

▽後援
登別市婦人団体連絡協議会・生活学校・登別市市民憲章推進協議会

▽問い合わせ先
登別市教育委員会社会教育課(電話五二二二一一内線三五二)

▽榎美沙子さんのプロフィール
昭和二十年徳島県生まれ。昭和四十二年京都大学薬学部卒業。

▽昭和四十七年中ピ連(中絶禁止法に反対し、ビル解禁を要求する女性解放連合)を結成

▽昭和四十九年女を泣き寝いりさせない会を結成

スポーツ短信

スキー連盟から

登別市スキー連盟から、二月三月中のカルルススキー場の催し物をお知らせします。

●二月十一日 第一回胆振ジュニアスキー大会

●二月十五日 基礎スキーパッチテスト(一級～五級)

●二月二十二日 ヤマハジュニア大会

●二月二十九日 第二十四回全道大回転大会

●三月六日 七日 カルルススキーまつり

●三月二十一日 基礎スキーパッチテスト(一級～五級)

くわしい内容については、カル

ルススキー学校に「合せくたさ」電話・登別編集局四一〇七三。

第七回道民スポーツ
胆振冬季大会

●二月八日 十時から「スキー競技」オロフレスキー場

●二月十五日 十時から「スケート競技」若小牧ハイランド

登別市から選抜された選手が、参加しますので、数多くの市民が観戦され、選手に声援をおくられるようお願いいたします。

文化短信

「のほりべつ文芸」原稿募集

のほりべつ文芸編集委員会では次の要領により、「のほりべつ文芸」第四号の原稿を募集しています。多数応募してください。

募集作品
○創作・評論
一人一編二十枚以内

○随筆
一人一編五枚以内

○詩
一人一編二十行以内

※いずれも主題形式は自由、四百字詰原稿用紙を使用してください

○俳句
一人三句以内(自選)

○川柳
一人三句以内(自選)

○短歌
主題形式は自由、一人三首以内(自選)

※いずれも官製ハガキを使用して

ください。

▽応募資格
市内に居住する一般住民(小中高生を含む)

▽締切日

昭和五十年二月二十八日(当日消印のあるものは有効)

▽作品の送り先
登別市中央町六丁目十一番地
(郵便番号〇五九一〇三)

登別市教育委員会、社会教育課宛
応募原稿には、住所、氏名、年齢、職業、または学校名を明記する。ペンネーム使用の場合でも、必ず本名を併記してください。

▽主催及び選考
登別市文化協会のほりべつ文芸編集委員会

▽問い合わせ先
市教育委員会社会教育課(電話五二二二一一内線三五二)

▽掲載された方には「のほりべつ文芸」(三月末刊行予定)を、贈呈いたします。

図書館に 百三十万円寄贈

文化的な市民生活の向上に役立ててほしいと、北海道コンクリート株式会社はか二社より図書購入費の寄贈がありました。

図書館では、その意志をお受けし、文庫を設置することになりました。

みなさんのご利用をお待ちしております。

大平工業株式会社 四十万円
菱中興業株式会社 三十万円
北海道コンクリート株式会社 六十万円

「寄贈ありがとうございます」

〈社会福祉協議会へ〉

○愛情銀行
高崎末吉殿・一千元、高橋宏成殿・二千元、川端仁作殿・五千元

老人クラブ緑寿会殿・六千五百四十二円、関藤キク殿・九百八十四円

老人クラブ警察会殿・八千三百三十円、小田美代子殿・五千元、遠藤嘉孝殿・五千元、内田利春殿・五千元

商工会議所青年部殿・九万一千五百五十円、西川清殿・一千元、キビィチョウ会殿・五千元、ロスターリクラブ殿・五万円、相原亮平殿・一万円、幌第一町内会

婦人部殿・三千元、フッシュンシャルム会殿・六万六千五百円、井下英之殿・一万五千元、第一流本館労働組合殿・四万五千五百円、岩間義三殿・三千元、スナックラ

ベル殿・一万円、平山綾子殿・六千六百五十円、クラブエンヂェル殿・二万五千二百円、北海道コンクリート主婦会一同殿・五千五百八十二円、白田電気商会従業員

同殿・一萬五千五百円、匿名二件七十二円

○古切手寄贈
川尻自工殿・二百五十枚、老人クラブ緑寿会殿・三百四枚、若草小学校殿・二千八百八十二枚、伏見昌男殿・九千五百枚、丸正ミト殿・三千三百枚、登別ライオンズクラブ殿・四万三千五百枚、持丸虎太郎殿・二百四十二枚、山神せつ子殿・四百五十枚、渡辺吉次殿・百枚、登別ボランティアクラブ殿・二百六十枚、東小学校児童会殿・二千五百三十七枚、木戸裕子殿・百枚、匿名・二千枚

○物品寄贈
緑ヶ丘町会婦人部殿・衣類四百八十点、川端仁作殿・衣類五十点、小田美代子殿・衣類十九点、高田勝三郎殿・衣類三十点、藤上勇吉殿・衣類三十五点、登別小学校一年三組一同殿・衣類八十点、田中了治殿・衣類七十点、匿名五件、衣類百四十五点

おしらせ

富浦霊苑を

新規貸し付け

市では、富浦霊苑既設分の貸し付けが完了したことにもない、新規に造成を行なっていますが、ただ今、この貸し付けの申し込みを受け付けています。

希望の方は、市保健衛生課か各支所へ申し込みをしてください。

なお、各等級の面積と使用料は次のとおりですが、この料金等については、現行の掘置料金となっていて、全区画とも自由型墓地となっています。

また、現行等級のほか、五等級（二・二五平方メートル）を新しく区画造成し、昭和五十一年四月以降に貸し付けする予定ですのでお知らせいたします。

等級	面積 平方メートル	区画の 使用料 円	区画の 数 円	合計 円
1等	12	90,000	24,000	114,000
2等	9	54,000	18,000	72,000
3等	6	27,000	12,000	39,000
4等	4	14,000	8,000	22,000

「しいたけ」の 種駒をあっせん

ことしも「しいたけ」の種駒を市民の方に限りあっせんします。

御希向方は、市農水産課まで

（本庁三階）印鑑持参のうえ、お申し込みください。

なお、代金は、申し込みの時にいただきます。

○申し込み期間
昭和五十一年二月二日～七日迄

○代金
なめこ、しいたけとも一個一千九百円（種駒千個入）です。

○種駒の申し込み数は、千個単位です。

二月の予防接種

種別	午後 1:00～1:30まで		
	BCG	ジフテリア	反
三混	2月12日	2月19日	2月26日
中央公民館	2月12日		
商工 会館	2月5日	2月3日	2月10日

- 二月の予防接種を表の日程で行いますので、次の点に注意して受けてください。
- 体温は必ず家で計ってくださること。
- 母子手帳を必ず持参すること。
- 三種混合を受ける方は
- △接種対象
 - 第一期：生後二十四ヶ月以上三十八ヶ月まで。
 - 第二期：生後二十四ヶ月以上四十八ヶ月まで。
- 中止による接種未了者の取扱いは一月から接種開始
- 第一期完了者：第二期を受ける
- 第二期二回済：第二期を受ける
- 四月から接種開始
- 第一期一回済：第一期二回を接種する。
- 二歳児以上の未接種者：第二期

三回を接種する。

△ジフテリアを受ける方は接種対象

今春小学校入学予定者で、保育所幼稚園に通園していない児童

△ツ反・BCGを受ける方は接種対象

生後三ヶ月以上三十六ヶ月まで一回も、ツ反、BCGを接種していない乳幼児



赤ちゃん検診

市では、医師、保健婦、栄養士による赤ちゃん検診を次の日程で行いますので、受診者は必ず母子手帳をご持参ください。

△対象児
昭和五十年十一月生まれの乳児

△内容
診察、計測、栄養指導、育児指導

△用意するもの
バスタオル、変えオムツ、母子手帳

△日程と場所
二月二十日、鷺別公民館

△受付時間
十二時～十二時三十分

胃の集団検診を 受けよう

市では、北海道対がん協会の協力を得て、今年度第二回目の「胃集団検診」を、次の日程で行いますので、希望者は早めに申し込みください。

なお、日程の都合により、各日とも百名になりしだい、締切らせていただきます。

△対象者
満三十五歳以上の方（両親及び近親者にがん等の疾病のある方は三十歳以上）

△検診料
国民健康保険加入者四百五十円
生活保護世帯 五百円
受診当月七十歳以上 五百円
一般（右記以外） 一千五百円

△申し込み締切日
二月七日まで（ただし、各日百名になり次第締切らせていただきます）

△申し込み先
市保健衛生課健康相談係が最寄りの支所に申し込みください。

※国民健康保険で受診される方は必ず保険証を持参ください。

実施日	受付時間	場 所	定員
2月9日	午前7時～7時30分	鷺別公民館	100名
10日	〃	登別公民館	100名
11日	〃	登別市役所	100名
12日	〃	登別市役所	100名

二月の健康相談

毎週木曜日、みなさんの身体や心に関する相談所を開設しています。

△実施日および受付時間
二月十九日、二十六日
午前九時～十二時、午後三時～六時

△内容
午前：成人病相談（生活、食事指導）、妊婦相談、家族計画相談

午後：赤ちゃん相談（六ヶ月児九ヶ月児）、その他相談のある乳幼児（育児指導）

△場所
中央公民館和室

股関節脱臼検査 を行います

市では、室蘭保健所との協力のもとに、毎年乳児の股関節脱臼検査を行なっています。

今年度第四回目の検査を、次の日程で行いますので、対象児はもれなく受診してください。

△対象児
生後三ヶ月以上一年未満の乳児

△受診料
一人……六百円

△実施日および場所
二月二十六日、中央公民館和室

△受付時間および定員
午前……十時～十一時
午後……一時～二時
定員は午前、午後とも二十五名です。

※母子手帳をご持参ください。

※二月一日付広報のぼりべつで二月十九日実施となっていますが、都合により二十六日に変更しましたのでご了承ください。

肢体不自由者の 訓練生を募集

北海道肢体不自由者訓練センターでは、入所者を募集しています。対象者は、主として、脳性マヒによる肢体不自由者、またはこれに類する障害者で、十五歳から二十歳前後となっており、職能訓練科目は、次の五科目です。

○電子、事務科 ○金属機械科
○木材工作科 ○印刷、写真科
○皮革、縫製科

くわしくは、市福祉事務所保護課庶務係（電話五局二二一内線三四三）にお問い合わせてください。

加入電話の申し 込みはお早めに

登別電報電話局の今年度における、加入電話の販売割当数もあとわずかとなりました。

電話の取り付けを希望される方は、お申し込みください。

○持ち合わせ期間
申し込んでから、おおむね一カ月以内に取り付けます。（一部の線路工事増設地域を除いて）

○取り付け費用は約六万円です。

○申し込み方法
局の窓口または、電話五局二〇〇〇で直接申し込んでください。

○その他
新商品として、短縮ダイヤルのできるブッシュホン、またカラー電話もありますので、気楽にご相談ください。

登別電報電話局



飲んだら乗るな！
乗るなら飲むな！